

車体解体マニュアル

移動図書館車

株式会社 イズミ車体製作所

熊本県菊池郡大津町岩坂 3258-4

TEL: 096-279-1733

FAX: 096-279-1666

2025年8月20日 発行

目次

1. はじめに.....	3
2. 安全上の注意	3
3. 車両を解体する際の注意点.....	4
4. 車両解体手順	4
5. 外装部品の取り外し.....	5
6. 内装部品及び内装材の取り外し	6
7. 車体外板の取り外し.....	7
8. 車体骨格の取り外し.....	8

1. はじめに

本マニュアルは移動図書館車の解体に関する作業及び架装物処理を適正に行うための手順を記載したものです。本資料内に記載のない内容につきましては、製造銘板に記載されている製造元へお問い合わせください。

車両に搭載されている架装部品に関しては車体より取り外した後、各部品メーカーの指示により解体、廃棄を行ってください。

解体後のベース車両のシャシに関しては、シャシメーカー等の指示により廃棄を行ってください。

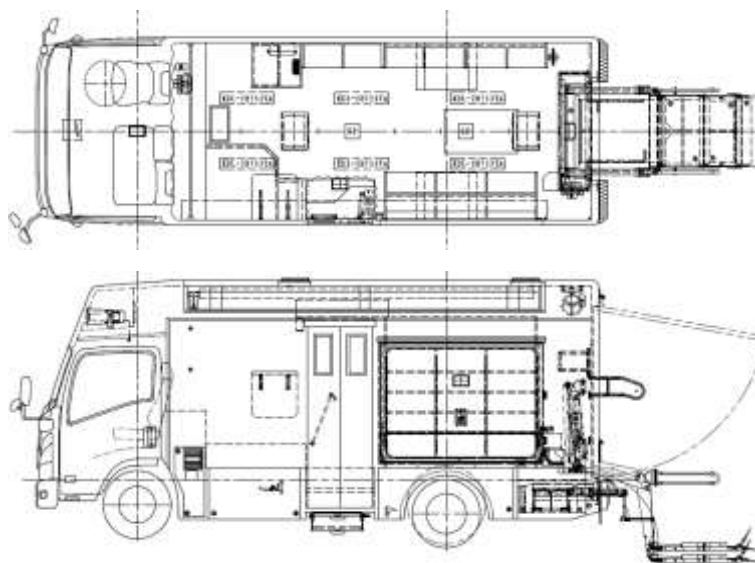


図 1 図書館車レイアウト概略図

2. 安全上の注意

作業を行うにあたって、以下の内容を順守してください。

- 作業服、作業帽・ヘルメット、安全靴等の装備を着用。
必要に応じて保護メガネ、革手袋、防塵マスク等の保護具を着用。
- 解体作業開始前には車両が解体中に動き出さないよう固定。
- 高所作業では、安全帯の装備や安定した足場の確保といった転落防止処置を実施。
- 燃料等の抜き取り・回収については消防法を順守。十分な換気を行い、引火や爆発が発生しないような環境下で作業を実施。
- 油脂・液体等の抜き取り・回収は、地下浸透・施設外流出が発生しない環境及び方法で実施。

また、上記に加えて下記の法律も遵守してください。

廃棄物処理法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、悪臭防止法、騒音規制法
労働安全衛生法、消防法

3. 車両を解体する際の注意点

本車両はトラックのキャブ付きシャシに鉄製骨格と鋼板で車体を架装したものになります。シャシと車体の結合部は溶接またはボルトにより結合されています。

車両の解体時には一般的な汎用工具で作業が可能で、必要な特殊工具等はありません。溶接部は切断機・サンダー等による解体、接着部はカッター等で切断といった手順となっています。

解体作業に関して、主要な注意事項は以下の点になります。

- ① 解体した部品は様々な材質を含むため、鉄・アルミ・ステンレス・木材・ゴム類・樹脂・配線材等の材質別に適切に分類し、処理を行ってください。
- ② 取り外したビス・ボルト類は、まとめて適切な処理を行ってください。
※ビス・ボルト類は表面処理剤に六価クロムが含有されている場合があります。
- ③ 取り外した配線はコルゲートチューブ等の樹脂製保護材と分離し、適切な処理を行ってください。
- ④ 上記以外の廃棄部品についても、適切に分別・廃棄処置を実施してください。

4. 車両解体手順

車両の解体を行う際には、以下の手順で作業を実施してください。

- ① 油脂・冷却水・冷媒等の抜き取り
車両から油脂類（エンジンオイル、ブレーキオイル等）やラジエータ・ヒータ系などの冷却水、空調用冷媒等の抜き取りを行います。抜き取ったものはそれぞれ決められた方法で処理を行います。
 - ② 車両外装部品の撤去
主にボルト・ナット等で外装に固定されているテント、扉や保安部品といった部品の取り外しを行います。
 - ③ 車両内装部品および内装材の撤去
車両内に搭載している内装部品の取り外しを行います。内装部品撤去後、内板・床材といった内装材の解体を行います。
※ エアコン等の空調機器を搭載している車両の場合、取り外す前には必ず冷媒の抜き取り処理が完了していることを確認します
 - ④ 車体外板の撤去
溶接によって取り付けられている外板の解体を行います。
 - ⑤ 車体骨格の撤去・分解
車両の骨格部分を切断、撤去及び分解を行います。
- 各部品の搭載時の取り付け方法について次項以降で説明してあります。対応する工具での取り外しを実施してください。

5. 外装部品の取り外し

外装部品のうち灯火器の配線引き出し部分といった箇所は水が入らないようにシール材等で防水処理を実施しています。取り外しの際にはカッター等でシール材を取り除いてください。

外装部品はそれぞれ以下の方法で取り付けられています。

- ① フェンダートリム・モール（差し込み式または接着式）
- ② ワイパー、サイドミラー（ボルト止め）
- ③ フロントガラス、リアガラス、側面固定窓、乗降口扉窓、天窗等（ゴム及び接着式）
- ④ 前後バンパー（ボルト止め）
- ⑤ ヘッドランプ、テールランプ、方向指示器等の灯火器類
（ボルトまたはビス止め、一部両面テープ等で接着、シール材で防水処理）
- ⑥ 反射板・銘板等（両面テープ等で接着）
- ⑦ 天幕、天幕カバー、手すり（ボルトまたはビス止め）
※ 天幕は本体と幕布を分離し、適切に処理してください。
- ⑧ 通気口・ベンチレーター、換気扇（ボルトまたはビス止め）
- ⑨ 運転席・助手席扉、側面・後面扉、書架扉（ヒンジ部分ボルト止め）
※ 扉は内外板、ハンドル、ロック、ガラス等のそれぞれで異なる複数の素材が使用されているため、取り外し後には分解して処理してください
- ⑩ 扉・通気口周り防水ゴム（差し込み式または接着式）
- ⑪ スカートリッド（ボルトまたはビス止め）
- ⑫ 外線導入口、コネクタ（ビス・ボルト止め、シール材で防水処理）
※ 防水コネクタは本体が黄銅ですが、絶縁体やパッキンにはゴム、樹脂を含むため、分解して適切に処理してください。
- ⑬ 車外スピーカー、バックカメラ、その他車外電装品（ビス・ボルト止め）
- ⑭ 引き出しステップ（ボルト止め、溶接）
※ ステップには滑り止めゴムを取り付けている場合があるので、分別して処理してください
- ⑮ 燃料タンク、駆動用バッテリー（ボルト止め）
※ ブラケット等でベース車両フレームに固定されているため、作業が難しい場合には床板や外板を撤去した後に取り外してください
※ 燃料タンク撤去時にタンク内の燃料が残っている場合、十分に注意して作業してください

6. 内装部品及び内装材の取り外し

内装部品・内装材はそれぞれ次の方法で取り付けられています。

- ① 座席、ベンチシート、跳ね上げ席、シートベルト（ビスまたはボルト止め）
- ② カーペット（ホック、ビス止め、マジックテープ止め）
- ③ カーテン（ホック、マジックテープ止め）、カーテンレール（ビス止め）
※ カーテン撤去後にカーテンレールを外し、それぞれ処理してください
- ④ 木製家具類・書架（ビス止め）
※ 家具類は木製ですがヒンジ、ロック、押さえ板など複数の素材が用いられるため、車両から取り外した後は工具等を用いて分解、分別して廃棄してください
- ⑤ 配電盤、スイッチボックス、室内灯、コンセント等、配線カバー（ビス止め）
※ 配線保護、固定部やコンセント等に樹脂部品を含むので、分別して処理してください
- ⑥ 天井内板（ビス止めおよび接着）
- ⑦ 側面内板（リベット止め、ビス止めおよび接着）
※ 表面材の鋼板・アルミ板は接着されているため、バール等を用いて剥がしてください
- ⑧ 天井、内板-外板間のグラスウール（接着、内板と外板で挟み込んで固定）
- ⑨ 天井、内板-外板の配線（クランプ、結束バンド・マウントベース等で固定）
- ⑩ リフトを搭載している場合、リフト及び油圧ユニットの撤去（ボルト固定）
※ リフトは可動式の重量物となっているため、撤去作業時には安全に配慮して作業を実施してください
※ リフト取外し作業前には油圧ユニットのドレンプラグを緩め、オイルをすべて抜いてください

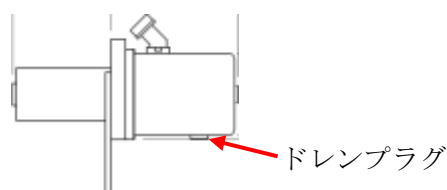


図 2 リフト油圧ユニット-ドレンプラグ位置

- ⑪ 床の点検口蓋（ボルト止め）
※ 点検口の蓋は表面に塩ビシート貼り付け、金属枠を取り付けてあるため、取り外した後はそれらを剥がし、分別して処理してください
- ⑫ 床板合板（ビス止め）、仕上げ材シート・ロンリウム（接着）
※ 床面の仕上げ材シートを剥がした後にビスを外し、バール等を用いて床板を外してください
※ 仕上げ材はロンリウム（塩化ビニル樹脂製）となっています

7. 車体外板の取り外し

車両外板は鉄板 1 枚の周囲を溶接することで骨格に固定してあります。

溶接部はパテ埋め・塗装を行っているので判別しにくくなっています。必要に応じてサンダー等で塗装を剥がすといった対応を実施してから作業してください。

主要な溶接点は次の通りです。

運転席・助手席扉後部、リッド上、書架扉・乗降口扉周り、車両側面上部（雨樋付近）、車両側面後部

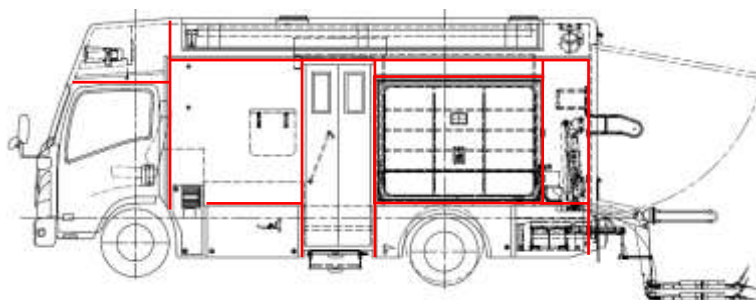


図 3 主な溶接点の例

溶接で固定されている部分を取り外す場合、サンダー等で溶接部を削って外し、その後バール等の工具を用いて板を剥がしてください。

① 雨樋（溶接固定）、書架扉上部特殊雨樋（リベット固定）

※ リベット固定部はサンダー等を用いて削る、もしくはリベット部に穴をあける等の方法で取り外してください

※ 書架扉等の上開き扉にある特殊雨樋にはヒンジ部防水用シートがリベット止めしてあるため、取り外した後にゴム・樹脂と金属を分別し適切に処理してください

② リッド BOX（溶接固定）

※ リッド BOX の溶接部は室内床下側の場合もありますので、床を撤去した後に作業してください

③ 屋根外板（溶接固定）

④ 側面・後面外板、扉枠（溶接固定）

天井など一部の外板は、防水性を確保するために接合部にシール材を取り付けています。そういった部分についてはカッター等でシール材を切り離してください。

外板の材料は基本的に鉄、アルミを使用しています。分別し適切に処理してください

8. 車体骨格の取り外し

車体骨格は大きく側面、後面、屋根、床と別れており、それぞれを溶接にて接合してあります。また、車両側フレームと床骨格の接合部は溶接やボルトでの締結によって固定されています。

安全のため作業時にはクレーンを使用し、撤去部分を吊るした状態で実施してください。

(推奨クレーン吊り上げ能力：500kg 以上)

骨格撤去の流れは以下になります。

① 屋根部分の骨格

側面・後面との接合部を切断機等で切断し、屋根部分を撤去します。

② 後面骨格

側面・床面との接合部を切断し、後面を撤去します。

③ 左右側面骨格

床との接合部を切断し、側面部分を撤去します。

左側面、右側面はそれぞれ分かれているため、順番に撤去を行います。

④ 床面骨格

フレームとの固定ボルトを外し、床骨格とフレームとの接合部を切断して撤去します。

撤去した骨格は天井や側面などの塊ごとになっています。処分する際には接合部分や骨格そのものを切断・分割し、処分可能な大きさにしてください。